



須江小だより

No.10

令和6年12月23日発行

よいお年をお迎えください

校長 佐々木 淳

暑い夏が長く続き、短い秋が過ぎたと思ったら急に寒くなりました。今日は二学期の終業式。今年も残すところあと8日となりました。

年の瀬にあたり、今年の干支を振り返ってみました。今年の干支、辰年の「辰」は「振るう」という文字に由来していて、万物が振動し、草や木が成長して活力旺盛になって大きく成長し、ととのう状態になる年と言われています。

この二学期は、まさに須江小が成長し、ととのう学期だったと思います。

夏休みが明けて9月。台風の襲来や熊の出没などで行事が中止になったりお迎えをお願いしたりしましたが、急な対応にも関わらず、迅速に対応していただきことを大変心強く思いました。10月は遊楽館のステージでの学習発表会や第30回記念かなんまつりなど、子どもたちの頑張りが存分に発揮されました。11月から12月にかけては、サツマイモの収穫、支援学校やお茶のみサロンとの交流、大豆畑の見学、須江地区や須恵器の歴史の学習、中学校の先生の特別授業、須江小ウォークラリー、モンゴル子ども芸術団との交流など、豊かな関わり合いの中で大きな成長が見られました。



体育館の工事も順調に進んでいます。須江中跡地駐車場の舗装工事に当たっては、子どもの送迎などで大変ご不便をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力をいただき、安全に工期を終えることができました。また地域の皆様には、子どもたちの安全のために朝の交通指導をしていただきましたことに改めて感謝いたします。工事はいよいよ最終段階。新しい体育館にはシルバーに輝く校章も設置され、完成を待っています。新しい須江小学校がととのう時はもうそこまで来ています。

さて、明日から冬休みです。子どもたち一人ひとりにとって成長できたことがあったことと思います。ご家庭の団らんのひとときに、今年一年を振り返ってみてください。

1月8日、元気な笑顔で登校してくることを心から願っています。

どうぞ、よいお年をお迎えください。